



『夏目漱石句碑』（平戸市）

夏目漱石は、慶応三年、東京都生まれ。本名金之助。「吾輩は猫である」「坊ちゃん」等、不朽の名作を残した文豪である。正岡子規と出会い俳句を始める。

明治二十九年から三十二年、第五高等学校（現熊本大学）に英語教師として勤務し、雲仙等を修学旅行の引率で訪れた。明治三十六年には、英国留学の帰途、長崎市内に投宿した。

平戸を訪れたかは不明だが、句碑に描かれた情景は、平戸の捕鯨の模様を詠んだもので、明治二十八年、漱石から子規へ送られている。『漱石全集』（昭和十年発行）では「正岡子規へ送りたる句稿 その二」に収められている。碑文は、次のとおりである。

凧に くじら潮吹く 平戸かな

碑は、昭和六十年十一月、平戸歴史顕彰会によって建立された。